

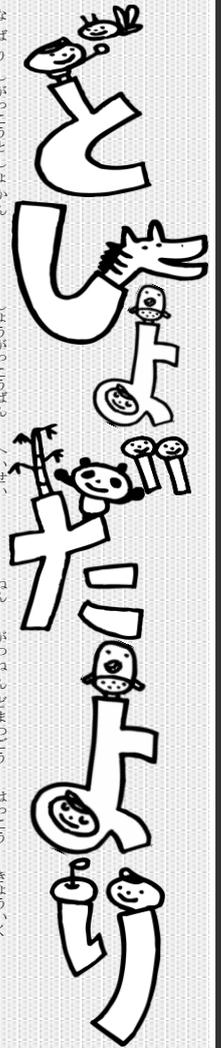


角野栄子 作 佐竹美保 画

えいが まじょ たつきゅうびん へいせいげんねんこうかい  
 映画「魔女の宅急便」は平成元年公開  
 でした！2017年には原作の最新刊  
 が出ています。（発行：福音館書店）

へいせいさいご  
**平成最後、そして次へ！**  
 つぎ  
 『平成最後』なんて言葉を最近よく聞きますが、みなさんは、平成のうちにたくさん本を読みましたか？ひとつ前の昭和は、戦争などもあり『激動の昭和』と言われましたが、平成はインターネットやスマートフォンなど、情報技術の進歩が目立ちました。電子書籍なんて、SFの世界の話だったのですが、あつという間に現実のものになってしまいました。次の時代はいったいどんなふうになるのでしょうか？楽しみがいっぱいですね。

なばりしがこうとじよかん  
 名張市学校図書館だより 小学校版  
 へいせい  
 平成三十一年三月年度末号  
 はつこう  
 発行：教育センター

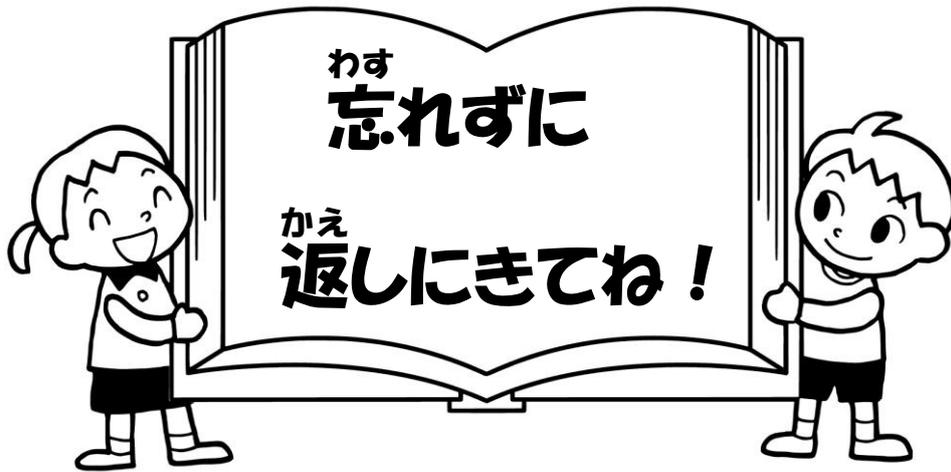


## かえ わす 返し忘れ、ありませんか？

なばりしないうちゅうがっこう はるやす  
 ☆名張市内小中学校の春休みは、本の貸し出しがありません。

がつちゅう かなら かえ  
 3月中に必ず返しましょう。また、なが あいだ か  
 長い間借りっぱなしの本はありませんか？  
 とく ねんせい そつぎょう かえ わす  
 特に6年生は卒業までに返すのを忘れないようにしましょう。（何年  
 まえ そつぎょうせい か ほん も  
 前の卒業生が、借りていた本を持ってくることもあります。）

なか きょうしつ つくえ なか  
 かばんの中、教室、机の中、おうちの中、よく確認してください。もし、  
 じぶん ほん か  
 自分が本を借りているかわからなかったら、としよしつ き  
 図書室で聞いてみましょう。



こんかい  
**今回のお知らせ**  
 へんせきく  
 ●返却しましょう  
 ぞつぎょう ほんしやうかい  
 ●卒業の本紹介



いちねんかん としよしつ  
**一年間、図書室にきてくれてありがとう！**



# そつぎょう きみ 「卒業」する君たちへ



たくさんのドア  
So Many Days

※ アリスン・マギー  
原：ユ・テウン  
訳：なかがわちひろ

## 『たくさんのドア』

著：アリスン・マギー  
絵：ユ・テウン  
訳：なかがわちひろ  
発行：主婦の友社

平成27年度のとしよだよりでも、同じテーマで本を紹介しましたが、そのうちの一冊に『たくさんのドア』という絵本がありました。

この絵本は、これから先、楽しいことばかりではなく、時には困ったことや、つらいことなど「たくさんのドア」を開けるであろう人に、エールを送る本です。毎年卒業シーズンが近づくと人気が出る本でしたが、海外の翻訳絵本は制約上、一度品切れになるとなかなか手に入らない状態になってしまいます。そのため、以前のとしよだよりで紹介したとき、この絵本はすでに出版社にも在庫がなく、市立図書館では予約待ちになるほどでした。

しかし、「ぜひ卒業生に読み聞かせをしたい」などのリクエストが全国から出版社にたくさん届き、なんと2018年1月に再版されました。卒業生だけでなく、みなさんに読んでほしい一冊です。



『空の絵本』 作：長田弘 絵：荒井良二 発行：講談社

以前紹介した、1年生の教科書にのっている『あさになったのでまどをあけますよ』（作：荒井良二 発行：偕成社）と同じ、荒井良二さんが絵を描いています。この絵本は東日本大震災の後に作られました。作者の長田さんは、『朝が明けて、昼下がりになり、夜が来て、一日が終わる。それは平凡で退屈な一日なんかじゃなくて、ほんとうは、とんでもなく大切な一日だということを、今さらながら思い知らされた。そんなそんなありふれた奇跡、なんでもないミラクルを伝える、かけがえのない一日の絵本』と、語られています。読んだ後、思わず空を見上げたくなる絵本です。



『わたしはあかねこ』 作：サトシン 絵：西村敏雄 発行：文溪堂

「わたし」はあかねこ。とうさん、かあさん、きょうだいたちはみんな白と黒。「わたし」だけが赤かった——。そんなあかねこに、みんなは良かれと思って白と黒になる方法をすすめてきますが、あかねこは「そのままのじぶんがよかったの」と、赤いままでいることを選びます。みんなと違ったっていい、みんなと違っててもまちがいじゃない、それはすてきなことなんだよ、と語りかけてくれるような絵本です。

## 編集後記



平成もあと少しですね。次の4月発行の子ども読書の日号で、このとしよだよりも平成最後となります。実は、平成の元号を決めるとき、ほかにも「修文（しゅうぶん）」「正化（せいかにままたはしょうか）」という2つの候補がありました。この2つが選ばれなかった理由のひとつが、頭文字のアルファベットにあります。明治・大正・昭和はそれぞれM・T・Sですが、修文と正化は昭和と同じSなので、コンピュータのプログラムで認識するのに困るからです。ということは、次の元号はM・T・S・H以外になりますね。みなんで予想してみてくださいはいかが？

※としよだよりの感想をお聞かせください。E-mail:kyouiku@nabari-mie.ed.jp まで。E-mail は件名に「としよだより感想」と書いてください。